

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 モジュール株式会社

コード番号 3043 URL <http://www.modulat.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木原 礼子

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 経営・管理担当 (氏名) 藤井 隆徳

TEL 03-3454-2061

四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	905	21.6	63	380.9	141	75.0	116	65.5
25年3月期第2四半期	744	11.3	13	△78.9	80	28.6	70	13.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	84.99	—
25年3月期第2四半期	51.35	—

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,226	474	38.7
25年3月期	1,264	377	29.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 474百万円 25年3月期 377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,619.00	1,619.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期の年間配当金は実質増配の1株あたり18円となる予定です。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	11.5	140	34.0	190	1.3	100	12.7	72.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	1,370,000 株	25年3月期	1,370,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	1,370,000 株	25年3月期2Q	1,370,000 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心に企業収益は改善傾向を示し、個人消費は持ち直し傾向を見せ、設備投資は非製造業を中心に持ち直しの動きが見られるなど緩やかに景気回復しつつありますが、米国の金融政策の動向や財政問題への対応による影響や欧州政府債務問題、その他新興国経済の先行きなど、依然として不透明な状況が続きました。

このような環境の中、「本業である企業向けの継続的ITサービスへの集中」、「各種ITサービスの大型化や長期化」、「新しいITサービスの立ち上げ」、「全社的な業務効率化の推進」、「堅実な経営管理体制の更なる推進」などに取り組んでまいりました。

・ITサービス売上

当社の本業である「継続的ITサービス」の売上は、ほぼ計画通りで堅調に推移し、「一時的ITサービス」の売上も商品売上に付随する作業案件等が増加し、比較的順調に推移しました。

その結果、「ITサービス」全体の売上高は、592,619千円（前年同期比4.1%増）となりました。

・商品売上

商品売上は、厳しい事業環境ではあるものの、設備投資は非製造業を中心に持ち直し傾向が見られ、主要顧客からのハードウェア・ソフトウェアの大型案件獲得や新たなソリューション製品の販売案件が着実に実績を上げており、順調に推移しました。その結果、313,162千円（前年同期比78.3%増）となりました。

当第2四半期累計期間の新規顧客獲得数は、過去3年間の平均（過去3年間に於ける6ヶ月間の新規顧客獲得数は平均11社。）と比較して約2倍のペースで21社（内、大手企業又はその子会社様が5社、ITサービスの契約があった顧客13社。）を獲得することが出来ました。その内、当事業年度から本格稼働を始めた新サービスの関連部門では、新規顧客9社を獲得し、順調に実績をあげております。

費用面につきましては、売上高の増加傾向に対し販管費は前年同期とほぼ同水準であり、営業利益の増加に寄与しております。なお、第1四半期会計期間において、貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上しております。

以上により、当第2四半期累計期間の業績は、売上高905,782千円（前年同期比21.6%増）、営業利益63,622千円（前年同期比380.9%増）、経常利益141,702千円（前年同期比75.0%増）、四半期純利益116,433千円（前年同期比65.5%増）となりました。

なお、当社の事業はITアウトソース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態の分析)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,226,497千円となり、前事業年度末に比べ38,101千円の減少となりました。その主な要因は、無形固定資産の増加や貸倒引当金の減少等があったものの、現金及び預金や長期貸付金の減少等によるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ135,296千円減少し、751,838千円となりました。これは、前受金の増加があったものの、買掛金及び借入金が増加したこと等によるものです。

純資産は474,659千円となり、前事業年度末に比べ97,194千円増加しました。これは、利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して8.9ポイント上昇し、38.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は73,068千円となり、前事業年度末と比較して、90,332千円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、77,815千円（前年同期は33,035千円の獲得）となりました。これは主に、前払費用の増加額28,379千円、仕入債務の減少額97,074千円、貸倒引当金の減少額76,758千円等があったものの、税引前四半期純利益141,684千円、減価償却費71,147千円、たな卸資産の減少額42,486千円、前受金の増加額77,594千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、75,118千円（前年同期は64,831千円の獲得）となりました。これは主に保険積立金の解約による収入24,833千円等があったものの、無形固定資産の取得による支出92,875千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、93,029千円（前年同期は58,332千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出71,072千円等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想数値につきましては、下半期に費用が発生する計画であるため、平成25年5月10日公表時から変更しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	163,400	73,068
売掛金	177,838	164,745
商品	59,907	20,211
仕掛品	3,176	386
リース投資資産	65,523	79,910
繰延税金資産	17,313	10,502
その他	45,516	66,898
貸倒引当金	△1,296	△1,200
流動資産合計	531,380	414,522
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産（純額）	336,761	306,477
その他（純額）	12,056	11,524
有形固定資産合計	348,818	318,002
無形固定資産		
ソフトウェア	19,648	111,145
貸貸用資産	60,537	225,736
無形固定資産	80,185	336,882
投資その他の資産		
投資有価証券	16,279	21,686
長期貸付金	351,062	157,337
その他	170,872	135,404
貸倒引当金	△234,000	△157,337
投資その他の資産合計	304,214	157,091
固定資産合計	733,218	811,975
資産合計	1,264,599	1,226,497
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,722	48,647
1年内返済予定の長期借入金	257,330	219,750
未払金	54,037	50,194
未払法人税等	38,130	21,172
前受金	181,182	258,776
賞与引当金	7,983	15,990
保険積立金解約損失引当金	20,664	—
その他	22,304	11,020
流動負債合計	727,355	625,551
固定負債		
長期借入金	159,779	126,287
固定負債合計	159,779	126,287
負債合計	887,134	751,838

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	31,558	31,558
利益剰余金	90,875	185,128
株主資本合計	376,654	470,907
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	810	3,751
評価・換算差額等合計	810	3,751
純資産合計	377,464	474,659
負債純資産合計	1,264,599	1,226,497

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	744,698	905,782
売上原価	551,422	662,221
売上総利益	193,275	243,560
販売費及び一般管理費	180,046	179,938
営業利益	13,229	63,622
営業外収益		
受取利息	6,160	3
受取配当金	156	177
受取手数料	2,325	2,552
貸倒引当金戻入額	68,308	76,662
その他	484	3,809
営業外収益合計	77,435	83,206
営業外費用		
支払利息	6,422	5,042
支払手数料	52	43
為替差損	3,215	—
その他	—	39
営業外費用合計	9,690	5,125
経常利益	80,974	141,702
特別損失		
固定資産除却損	2,362	18
事務所移転費用	1,951	—
特別損失合計	4,313	18
税引前四半期純利益	76,660	141,684
法人税、住民税及び事業税	416	19,891
法人税等調整額	5,899	5,359
法人税等合計	6,315	25,251
四半期純利益	70,345	116,433

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	76,660	141,684
減価償却費	52,066	71,147
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△69,071	△76,758
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,002	8,006
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△5,746	△13,538
受取利息及び受取配当金	△6,317	△181
支払利息	6,422	5,042
為替差損益 (△は益)	3,215	△3,639
固定資産除売却損益 (△は益)	2,362	18
売上債権の増減額 (△は増加)	104,679	13,092
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,670	42,486
前払費用の増減額 (△は増加)	△82,405	△28,379
仕入債務の増減額 (△は減少)	△85,255	△97,074
未払金の増減額 (△は減少)	5,005	△10,296
前受金の増減額 (△は減少)	123,016	77,594
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,478	△9,299
その他	5,477	△36
小計	51,958	119,866
利息及び配当金の受取額	6,317	181
利息の支払額	△6,541	△5,404
法人税等の支払額	△18,697	△36,827
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,035	77,815
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,425	△4,862
無形固定資産の取得による支出	△14,014	△92,875
資産除去債務の履行による支出	△8,660	—
投資有価証券の取得による支出	△864	△884
貸付金の回収による収入	175,417	—
敷金及び保証金の差入による支出	△18,667	—
敷金及び保証金の回収による収入	50	—
保険積立金の積立による支出	△53,003	△1,329
保険積立金の解約による収入	—	24,833
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,831	△75,118
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△56,916	△71,072
リース債務の返済による支出	△1,416	—
配当金の支払額	—	△21,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,332	△93,029
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39,535	△90,332
現金及び現金同等物の期首残高	80,687	163,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	120,222	73,068

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。